

令和8年度（2026度） 函館市立赤川中学校の部活動に係る活動方針

- ・本校は、学校教育目標等を踏まえ、「函館市立学校に係る部活動の方針（以下「市の方針」という。）に則り、「赤川中学校の部活動に係る活動方針（以下「学校の活動方針」という。）」を策定する。
- ・本校は設置する部活動について、市の方針に基づき、適切な運営のための体制を整備し、適切な休養日等を設定するとともに、適切な指導等を行う。
- ・本校の部活動については、市の方針に定めるもののほか、次のとおり実施する。
- ・本方針は、市教委のホームページにおいても公表する。

1 適切な運営のための体制整備

(1) 設置する部活動

本校は、次の部活動を設置する。また、拠点校部活動（バレーボール、ハンドボール、陸上、合唱）に参加できる。

野球部	サッカー部
バスケットボール部（男子）	バスケットボール部（女子）
ソフトテニス部（女子）	卓球部（男子）
卓球部（女子）	吹奏楽部
総合文化部	

(2) 「部活動に係る相談・要望の窓口」の設置

校内に、「部活動に係る相談・要望の窓口」を設置する。

- ・相談・要望は、郵便、電話、ファクシミリ、持参のいずれかにより、下記の連絡先あてに提出することとする。

連絡先：〒041-0804 函館市赤川町125番地

函館市立赤川中学校 部活動窓口 あて

TEL 0138-46-0486 FAX 0138-46-0419

(3) 年間の活動計画、毎月の活動計画および活動実績の作成・提出

- ・各部活動の顧問は、年間の活動計画（活動日、休養日および参加予定大会日程等）ならびに毎月の活動計画および活動実績（活動日時・場所、休養日および大会参加日程等）を作成し、校長に提出する。
- ・部活動の顧問は、毎月の活動計画にある活動の開始および終了時間を遵守するとともに、計画を変更する場合は、あらかじめ校長の承認を得る。
- ・校長は、上記の各部活動の年間の活動計画、毎月の活動計画および活動実績等をもとに、教員や生徒の負担が過度とならないよう、持続可能な運営体制が整えられているか等の観点から、必要に応じて指導・是正を行う。
- ・校長は、各部活動の顧問に対し、当該顧問が年間および毎月の活動計画、活動全般および大会出場等に要する経費等に係る資料（部活動通信等）を配付

するなどして、「学校の活動方針」とあわせて、保護者・生徒の理解を得るよう指導するとともに、部活動顧問や生徒・保護者の負担が過度とならないよう指導する。

2 合理的でかつ効率的・効果的な活動の推進

部活動の実施にあたっては、生徒の体調変化、気象条件や気温、湿度などの環境の変化に十分に注意するとともに、生徒の心身の健康管理（スポーツ障害・外傷の予防やバランスのとれた学校生活への配慮等を含む。）、事故防止（活動場所における施設・整設備の点検や活動における安全対策等）および体罰・ハラスメント、いじめ等の不適切行為の根絶を徹底する。

3 適切な休養日等の設定

（1）休養日の設定

部活動の休養日については、次のとおりとする。

- ・学期中は、週当たり2日以上休養日を設ける（原則、土日のいずれか1日と毎週水曜日の週2日を休養日とする。ただし、大会及びコンクール参加に当たり、土日連続して活動を行う場合においては、休養日の振替を適切に行う。）。
- ・学校閉庁日および市教委が指定する日（地域クラブ活動の日）は休養日とする。ただし、地域クラブ活動の日に開催される大会等（競技団体等が主催する大会等に限る。）に参加する場合においては、この限りでない。
- ・テスト期間前（定期3日前、学力1日前）や職員会議日、テスト（当日）採点日は、休養日とする。
- ・休養日には学校で行う朝練習や自主練習も行わない。
- ・長期休業中は、生徒が十分な休養を取ることができるとともに、部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間（オフシーズン）を設ける。

（2）活動時間の設定

部活動の活動時間については、次のとおりとする。

- ・1日の活動時間は、長くとも平日では2時間程度、休日は3時間程度とし、週当たりの活動時間は11時間程度の範囲内とする。その中で、できるだけ短時間に、合理的でかつ効率的・効果的な活動を行う。
- ・生徒が、部活動と地域クラブ活動の両方に参加する場合や複数の部活動に参加する場合等においては、参加する活動全体を通算した週当たりの活動時間を11時間程度の範囲内とする。
- ・大会等の当日において、活動時間が3時間以上になる場合は、十分な休養を取ることができるよう、その後の休養日や活動時間を決定する。
- ・活動場所で測定した暑さ指数(WBGT)が31℃以上の場合は、原則として活動を行わない。